

# 3 がっひかりごう

令和4年3月1日 輝保育園

厳しかった冬将軍がようやく去り、ポカポカとした春の陽気が感じられるようになりました。この1年間の子どもたちの成長に驚きとうれしさを感じながら、日々過ごしています。コロナ禍で、様々な制限の中でしたが、友達と過ごす楽しさを感じたり、時には喧嘩をして悔しさや悲しさを感じたり、頑張った後の達成感を手に入れる等、沢山の経験をし、成長をみせてくれました。最後の1ヵ月、友達や保育士と大切に過ごしながら、卒園、進級への期待につながっていきます。

## 【お礼】

過日の生活発表会では制限がある中、ご観覧頂きありがとうございました。

この1年間の経験を通して、感じた事、考えた事、身に付いたことを様々な形で表現しました。

成長した姿をみせてくれました。



=== ナース・レポート ===

【インフルエンザ感染報告  
2季連続で低水準  
コロナ対策奏功・発熱への意識変化も】

日本国内における新型コロナの流行「第6波」においてもオミクロン株が主流になっています。

新型コロナウイルスの「第6波」が続く中、インフルエンザの感染報告は2季連続で極めて低い水準で推移している。

理由について厚労省は、コロナ禍で定着したマスク着用や手指消毒の効果、水際対策で海外との往来が減ったことなどを挙げる。

以前は少々熱があっても保育園などへ通わせる保護者が目立ったが、最近は早めに休ませたり、早退させるため仕事を中断して迎えに行ったりするようになったとし、「発熱時の対応への家庭や職場での理解が進み、感染拡大防止につながったのでは」と推測している。

2/13 読売新聞オンラインより抜粋

保育園でも感染拡大防止のため、厚労省の指示に従い、平熱より高い場合はお迎えを依頼し、解熱後24時間以上が経過し、呼吸器症状が改善傾向となるまで自宅にて様子を見て頂いています。

引き続き上記の対策を実施していきますので、ご協力をお願いします。

## 《《《 お願い 》》》

1. クリアケースの中と、お便り帳を毎日確認してください。
2. お金などの貴重品は、必ず職員に手渡しをお願いします。
3. 持ち物や衣類には名前の記入をお願いします。名前が薄くなっていないか、もう一度確認して下さい。
4. 夜更かしをさせず、早寝・早起をし、しっかり朝食を摂りましょう。
5. 毎日入浴させ、清潔にしましょう。

## ☆☆ 親離れ・子離れ ☆☆

～ 依存と自立 ～

### ■ 親離れ・子離れについて

① 乳幼児期：親が十分に、子どもの甘えを受け入れることが大切です。

子どもが親離れし、自立した大人へと導くためには、乳幼児期に親がしっかりと、甘えさせてあげることが重要になってきます。

自分の希望がすべて受け入れられる、望んだことが満たされることを十分経験させることで、子どもたちは「自分は愛されている、価値ある存在なのだ」と実感します。

この親子の「基本的信頼感」がなければ、自立への第一歩が踏み出せません。

保育園などに通い始めのころ、泣いていた子ども数日通うようになると、握っていた親の手を放し、自分から通えるようになるはずです。

このような姿は、しっかり甘えさせ、基本的信頼感を築けた証なのかもしれません。

「自分を迎えに来てくれる」、「帰ってくることを楽しみに待っていてくれる」そんな親の存在、愛情があるからこそ、できることなのです。

● 不必要なことや物を与えることは、「甘やかす」ことです。

● 必要なことや物を与えないことは、「放任」、「ネグレクト」です。

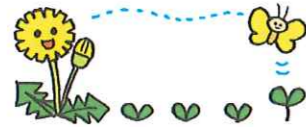
「教育力向上福岡県民運動  
ホームページ」より抜粋

## ★ 感謝 ★

保護者の皆様に見守られながら、子ども達はのびのびと園生活を送り成長することができました。

また、職員も保育者という立場だけではなく、共に成長しています。

これからも保護者の方々に安心して頂ける保育をしていきます。1年間、ご協力ありがとうございました。



## = 3月の行事予定 =

- 4日(金) 避難訓練
- 5日(土) 新年度説明会  
(新3才児と新入園児)
- 15日(火) お別れ会・お誕生会
- 20日(日) 卒園式
- 25日(金) 身体測定
- 31日(木) 修了式

## こどもよのうす

たんぽぽぐみ  
0才児



お友だちが泣いていると、そっと近づいてきて「大丈夫？」と言うかのように顔を覗き込みます。心配して頭を撫でてあげたり、ニコッと笑って笑顔にしてあげようとしたりと、成長と共に心の優しさが育っています。愛着関係を築くことから始まった一年間。悲しくなったり、寂しくなったりすると、両手を広げ、「抱っこして」と求めてくれる姿に信頼関係を築けていることが感じられました。今では、「せんせい！」と呼び、伝えたいことや自分の思いを身振り手振り、言葉で一息懸命伝えたり、お友だちと関わる楽しさを感じ、一緒に遊んだり、真似をし合ったりと、毎日笑い声が響き渡っています。0才児での生活も残り1ヵ月となりました。たくさん遊んで、たくさん笑って楽しく過ごしていきます。

たんぽぽぐみ  
1才児



この1年間、しっかりと自己主張をするようになったり、自分で出来ることをやってみようとしたりと、日々成長してきた子どもたち。身の回りのことを自分でやってみようとする意欲が見られたら、そばで見守り、出来ないところと一緒にしたり、さりげなく手伝ったりしながら、少しずつ出来ることを増やしてきました。それぞれ、やってみようと思うようになる時期、思いの強さの違いはありますが、確実に自分でやってみようという気持ちが育っています。たんぽぽ組での生活も残り1ヵ月となりました。今月も子ども同士のかかわりを見守ったり、保育士も参加したりしながら、一緒に遊ぶ事の楽しさをたくさん経験していきます。進級へ向けて、すみれ組の部屋で遊ぶ機会をつくり、少しずつ慣れていこうと考えています。

すみれぐみ  
2才児



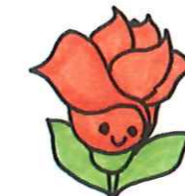
発表会では、いつもとは違う雰囲気泣き出す子もいましたが、たくさんの笑顔も見られ、見てもらうことに喜びを感じながらステージに立つことが出来ました。本番終了後も、自信たっぷりの表情の子どもたちでした。すみれ組の生活も残り1ヵ月となりました。この1年間、2才児での基本的生活習慣の確立を目指して、取り組んできました。日々の生活のなかで、自分達で出来ることが増え、たくさんの喜びを共有することで、自信となり「自分で!」、「もう一回やってみよう!」と意欲的に取り組む姿が見られました。まだ、課題も残っていますが、目標に少しでも近づき、一つでも多くの自信をつけて、新たな環境で頑張ってくれたらと願っています。ご家庭でも、子ども達の成長を喜び、それぞれの課題に対しての見守り、声掛けをお願いします。

ちゅうりっぷぐみ  
3才児



早いもので今年度も残り1ヵ月となりました。悲しさや怒りなど「負の感情」も含め、全ての感情を学びとして過ごした1年間。自分の気持ちに適切な「言葉」を知り、その言葉を使う事で自分の感情を整理しようとする経験を重ねてきました。優しい言葉でお話する事や譲り合う事の大切さに気づき、その先には、自分も友達も笑顔になる事を感じ取ると「ここに座っていいよ」、「一緒にしよう」など温かな言葉が広がり始めました。友達のことを自分のことのように心配したり喜んだり溢れる程の優しさをもったこども達に、私達保育士も沢山の笑顔をもらいました。いつまでも思いやりの気持ちを大切に、これからも元気に大きく心優しく育っていかれることを願っています。1年間、ご協力いただきありがとうございました。

ばらぐみ  
4才児



発表会では、家族の方に見守られる中で、緊張しながらも堂々とした表現をしている姿を見て成長を感じました。仲間と乗り越えたこの経験が自信になり、様々な場面で力を発揮しています。先月、発達評価表を基に、生活に必要な習慣の意味を理解しているか再確認しました。友達同士で姿勢が崩れている子がいると、自ら手本となって教えたり、手洗いの際は、「手首も洗うよ、ばい菌残ってるよ」と伝えたりする姿が見られるようになりました。また、意欲的な行動を認め合う姿も見られ始め、クラス全体の意識が高まりつつあります。切磋琢磨しながら身体も心も大きく成長した子ども達は、4月から年長さんになり、保育園の手本となる存在になります。これからも、ばら組の明るさと団結力を発揮し思い出を作りながら、残り1ヵ月楽しく過ごしていきます。

ひまわりぐみ  
5才児



生活発表会は緊張しながらもとても楽しく参加でき、友だちと意見を出し合い認め合いながら、力を合わせて一つのものを作り上げたことで、充実感や達成感を感じ、それぞれの自信が高まりました。最近卒園に向けて、カウントダウンしながら、卒園制作をしたり歌を歌ったりしています。卒園式の歌の歌詞に感情移入して泣いてしまう姿や「みんなと離れたくない」と寂しがらる姿が見られます。あと少しになった就学を楽しみにしている反面、どんなところかなと不安に感じ、複雑な気持ちです。プレッシャーをかけるような否定的な言葉かけは避け、「小学校でも大丈夫」と思えるような良いところをたくさん褒め、自信をもって就学できるようにしていきたいと考えています。ご家庭でも自信をもって就学できるようサポートしていただければと思います。